

目標達成計画

作成日: 平成 30年 9月 29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | | 職員と入居者が一緒に食事する機会は、行事食・外食の時だけとなっています。普段の食事の時にも、可能な範囲で、職員が同じものを、一緒に食事する機会を持つことを検討されてはいかがでしょうか。 | 入居者様と職員と一緒に食事することで、グループホームは施設ではなく家であるという雰囲気を作る。また、食事だけではなく、日常生活における掃除や洗濯などの作業も今まで以上に一緒に行えるようになる。 | ・毎週1回昼食レクを行い、職員も一緒に食事をする機会を定期的にする。 ・入居者様のできる中から、ホームでの役割を見出し、毎日の日課に取り入れる。10月中に入居者全員に対して出来ることの評価を実施。その中から日課に出来ることを検討。 | 3ヶ月 |
| 2 | | 目標達成計画に取り上げ外出支援のレベルアップに取り組んでいますが、家族アンケートの評価には現れて来ません。家族との外出は勿論、日常のホーム周辺への外出や散歩も外出です。家族への報告内容などを検討されてはいかがでしょうか。 | 行事以外の日頃の支援内容についてもご家族へ報告をし、日頃よりどのような関わりを持っているのかを理解して頂く。 | ・日頃の生活状況や外出の状況を知って頂くため、ユニットごとにアルバムを作成し、来園時に見ていただく。 | 3ヶ月 |
| 3 | | 自己評価及び外部評価結果とともに「目標達成計画」及び「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」を運営推進会議に開示し、サービス評価と運営推進会議を結び付け一体的に運用されることを期待します。 | 運営推進会議にて第三者評価の結果および改善計画を報告することで、ホーム内での取り組みとならないよう、さまざまな方の意見が反映できるようになる。 | ・第三者評価後は運営推進会議の議題に、評価の報告、ホームの取り組み内容、取り組み内容の経過報告を挙げ、会議参加メンバーの意見をいただく。 | 2ヶ月 |
| 4 | | 年度事業計画に年間目標を掲げ、これを実践計画に展開して実行しています。これらの目標及び計画は、実情に即して毎年の見直しが必要ですが、現場を直に知る職員の意見や提案が活かされることを期待します。 | 事業計画、実践目標、評価に、職員の意見が反映される。 | ・事業計画作成時、評価時には管理者などの少人数の職員だけではなく、ホームの職員全員の意見が反映できるよう、会議で話し合う。 | 6ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。